

# 利用案内 ～新所沢分館～

2017年

1月 □印：休館日 ○印：祝休日の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

★開館時間

土曜日・日曜日・祝休日：9時半～17時  
火曜～金曜日：9時半～21時

★休館日

月曜日（祝休日の場合は開館）  
月曜日が祝休日だった場合の火曜日  
月の最終水曜日  
年末年始（12/29～1/4）  
図書整理期間（2/20～2/24）

★図書利用券

所沢市に在住の方、通勤・通学している方は、住所・氏名が確認できるものをお持ちになり、記載台にある「利用券交付申請書」に必要事項をご記入の上、カウンターまでお持ちください。  
図書利用券は、本館・各分館すべて共通です。

★貸出・返却

図書（本・雑誌・紙芝居）：10冊、視聴覚資料（CD、ビデオ、DVD）：2点  
貸出期間は2週間です。開館時間内はカウンターへお返しください。  
閉館時には図書のみ返却ポスト（児童館側入口付近の自転車置き場壁面）をご利用ください。  
視聴覚資料は壊れやすいため、返却ポストの利用はできません。

★レファレンス

調べものやわからないことがありましたら、お気軽にお近くのスタッフまでお問い合わせください。お手伝いいたします。また、辞典・事典・年鑑・白書などの参考資料や所沢市などの郷土資料をそろえた専用のコーナーがあります。お役立てください。

★インターネットブース・持込みパソコン席

館内には、インターネットを閲覧できるパソコンが3台あります。また、ご自身のパソコンやタブレット、電卓などを使用する専用の席（持込みパソコン席）が6席あります。  
ご希望の方は、図書利用券または身分証をカウンターまでお持ちください。



所沢市立図書館 新所沢分館

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3

☎ 04(2929)1905

指定管理者 株式会社ヴィアックス 2017年1月9日発行



# 新成人のみなさんへ

所沢市立所沢図書館新所沢分館

～新所沢分館分館長からみなさんにお祝いの言葉

成人の日を迎えられ、こころよりお慶び申し上げます。  
二十歳はご自身にとってもご家族にとっても大きな節目の一つですが、これから歩いていく人生の中で読んでいく本の中に、その後の人生に大きな影響を与えるものがあると思います。  
読んだ時に得たものは知識として残り、その後を受ける自身の問題解決の助けになることもあるでしょう。知識を得る機会があることは素晴らしいことです。  
老子の言葉を引用し、お祝いの言葉といたします。  
『人を知る者は智、自ら知る者は明なり。』  
(他人のことをわかるのは知恵者で、自分のことをわかるのは賢者である。)

○ 「みなさんにぜひ読んでいただきたい新所沢分館スタッフが  
おすすめする本ベスト20」2017年版

● 成人の日を迎え、大人としての第一歩を踏み出した皆さんへ、図書館スタッフからおすすめ本をご紹介します。これから社会人になるために参考になる実用書もあれば、長い人生の中で心に残る物語の本など、幅広い本をリストアップしております。

● 本を読むことは知識を身につけるだけでなく、この世に起こりうる様々な出来事を疑似体験して楽しめる、豊かな遊びでもあります。ぜひ、皆さんの生活の中に読書という時間を加えてみてください。図書館にお越しいただいた際は、スタッフ一同で皆さんの読書の体験をお手伝いさせていただきます。



書名	著者名	出版社	内容	請求記号
『面白くてよくわかる！ 心理学入門』	齊藤勇／監修	アスペクト	「自分は（相手は）なぜこのような考え方をするのか？」という疑問を心理学の観点から易しく解説してくれる一冊。	140/オ/
『前向き力』	齊藤孝／著	筑摩書房	齊藤先生の「〇〇力」シリーズ。「やらなければ」と無理に気合を前面に押し出さない等、具体的に述べられている使えるヒント満載の一冊です。	B/159/サ/
『般ニヤ心経』	加藤朝胤／監修	リベラル社	生きていると色々な壁が立ちちはだかる。その壁を壊すのか、飛び越えるのか。考えても分からない時に可愛い猫の写真とお経の解説が助けになるかもしれません。	183.2/ハ/

書名	著者名	出版者	内容	請求記号
『英語で話せる日本図鑑』	永岡書店編集部／編著	永岡書店	「自分の国の素晴らしい文化を海外に発信してみたい！」そんな気持ちになったら読んでみてください。	291/E/
『OLIVE いのちを守るハンドブック』	NOSIGNER／編	メディアファクトリー	世の中なにかが起こるかわからない。「いのちを守る行動をしてください」と言われた時、あなたはどうしますか？読むことで何かが変わる本です。	369.31/O/
『やってるかもしれないけどやってはいけない日本人のマナー』	福島由美／監修 花島ゆき／イラスト	ブルーロータスパブリッシング	日常生活でやってしまいがちなマナー違反。七五調の標語とイラストで紹介。それを正すためのアドバイスが分かりやすく説明されているので、普段の言動を見直すきっかけになります。	385.9/Y/
『センス・オブ・ワンダー』	レイチェル・カーソン／著 上遠恵子／訳	新潮社	子どもの頃は素直に感じていた地球の命の面白さ。本の中に広がる美しい風景が私たちに「感じることの喜び」を再び思い出させてくれます。	Y/40/
『世界がわかる理系の名著』	鎌田浩毅／著	文藝春秋	誰が、何を書き、世界はどう変わったのか。あなたが当たり前で過ごしているこの世界を変化させた数々の名著がこの一冊でわかります。文系の人にこそ、ぜひ。	S/404/K/
『人見知りが治るノート』	反田克彦／著	すばる舎リンケージ	二十歳になり、大人の階段を上っている皆さん、今こそ人見知りを克服してみませんか？	493.74/Y/
『LIFE』	飯島奈美／料理・スタイリング 大江弘之／写真	東京糸井重里事務所	自分だけの料理本を持っていますか？これから自分で料理する機会が増える方には、ぜひこの一冊を。基本の手順と何度でも作りたくなるレシピは、一生のお供になるかもしれません。	596/I/
『ゲゲゲの人生わが道を行く』	水木しげる／著	日本放送出版協会	妖怪漫画の第一人者、水木しげるの人生記。飄々とした言動は、現代を生きる示唆に満ちています。つらい時代を経験した故に「なまけ者になりなさい」の言葉が際立ちます。	728.101/M/
『言えなかったありがとう。』	村上信夫／著	幻冬舎	「ありがとう」というたった一言が言えないまま時間が流れてしまうと、澱のようにいつまでも心の奥底に溜まっていきます。親しい間柄に対してだからこそ、気恥ずかしくても感謝の気持ちを伝えましょう。	816.8/I/

書名	著者名	出版者	内容	請求記号
『トリツカレ男』	いしいしんじ／著	新潮社	「なにかに本気でとりつかれるってことはさ、みんなが考えてるほど、ばかげたことじゃあないと思うよ」本気で夢中になるってことは無駄にならない。そう勇気づけてくれる一冊です。	913.6/T/
『いま、会いにゆきます』	市川拓司／著	小学館	亡くなった妻が記憶を無くして戻ってくる。とまどいながら受け入れる夫と息子。大切な人に気づける本です。	913.6/I/
『風に立つライオン』	さだまさし／著	幻冬舎	実在した青年の話を中心に、さだまさしが歌を作り、小説になり、そして映画化されました。戦争に巻き込まれ、希望をなくした子どもたちを見捨てられなかった青年の無垢な生き方に心揺さぶられます。	913.6/S/
『ちょちょら』	畠中恵／著	新潮社	いつの時代も仕事の責任は重い。急な人事だろうが新人だろうが、責任の重さに変わりはない。江戸時代、新人留守居役の奮闘ぶりを、とくにご覧あれ。	913.6/H/
『私を変えた一言』	原田宗典／著	アクセス・パブリッシング	著者が人生の折々に出会った自分を変えた一言を紹介しています。環境が変わったり、歳を重ねると今までは何とも思わなかった言葉が引っかかるようになるかもしれません。	914.6/H/
『森の生活（ウォールデン）』	ヘンリー・D・ソロー／著 真柴義博／翻訳	宝島社	今から170年前、著者が二十代の時、街を捨てて森で読書と自給自足の生活を送った記録。彼の消費生活への批判は、過剰な消費社会である現代に通じる警鐘のようです。	934.6/Y/
『ノックの音が』	星新一／著	新潮社	「ノックの音」から始まる15の短編が収録されています。電車で通学・通勤している人におすすめです。	Y/F/H/
『木を植えた男』	ジャン・ジオノ／原作 フレデリック・バック／絵	あすなる書房	これは絵本です。児童書の棚に置かれていますが、実は大人向けの本です。人生の航路上で生き方に迷った時、ぜひ何度でも手に取っていただきたい一冊です。	E/H/

\*請求記号とは…『日本十進分類法』により著作物の主題・内容を0～9の数字を用いて分野ごとに分類した番号に著者の頭文字などを付した記号のことです。図書館ではこの請求記号の番号順で、棚に本が並んでいます。

